

令和7年度 学校自己評価最終報告

石川県立七尾特別支援学校

重点目標	具体的取組	主担当	実施状況の判断基準	判定基準	集計結果	成果・今後の課題
1 授業実践力の向上 (教科指導の充実)	① 国語科「聞くこと・話すこと」領域の資質・能力向上を目指した授業改善に取り組みながら、自分の担当している他の授業にも成果をいかし授業改善に取り組む。	研究研修課	部研究や研究授業と授業整理会などを参考にした授業改善により、児童生徒の「聞くこと・話すこと」領域の資質・能力が向上したと回答した教員の割合が A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	児童生徒の「聞くこと・話すこと」領域の資質・能力が「向上した」または「向上しつつある」と回答した教員の割合が 96% 判定A	職員アンケートの結果、多数が児童生徒の聞く力・話す力の向上を実感していることが分かった。具体的には、語彙の増加やサイン・ジェスチャー等の多様な伝達手段の活用、他者を意識した発言やそれらを聞こうとする姿勢が見られるようになってきており、児童生徒の成長がうかがえた。また、教員側も、児童生徒の微細な変容を捉え力が身に付いてきたことで、視覚支援の活用や発問の工夫等、適切な支援を行うことができるようになり、指導力が向上してきた。 現在、児童生徒が身に付けた力を国語科以外の場面に広げていけるよう授業改善に取り組んでいる。長期的かつ、幅広い視点で児童生徒の変容を捉えることが必要になってくるため、今後の継続的な課題である。そのためには、職員間で連携し、効果的な指導・支援について共通理解し、児童生徒の目指す姿に向けて学校生活全体で取り組むことが重要である。
2 地域社会との連携	① 地域に開かれた学校教育の展開を目指し、児童生徒が地域の公共施設や人材等を活用し学習する機会を計画的に設定する。	各部	地域の公共施設や人材を活用した授業を検討し、実施した回数が全校で A 45回以上である。 B 30回以上である。 C 15回以上である。 D 15回未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	地域の公共施設や人材を活用した授業を検討し、実施した回数が全校で 45回 判定A 小学部19回 中学部10回 高等部16回	小学部では、校外学習で地域の施設を積極的に活用し、社会とつながる場での体験を楽しむことができた。また、朝日小学校との学校間交流を年4回計画的に行うことができ、児童の主体的な行動が多くなった。 中学部では、校外販売等の他に外部講師を招き、アイシングクッキー作りや羽咋市の朱鷺の放鳥の取組みについて学び、地域の環境等についての理解を深めることができた。 高等部では、各作業学習班が積極的に地域での販売や清掃活動を計画し実施した。生徒は地域に貢献できた喜びを感じ、自己有用感を高めることにつながっている。 今後は、地域の施設や人材の情報をデータベース化し、効率的に活用できるように整備していきたい。

重点目標	具体的取組	主担当	実施状況の判断基準	判定基準	集計結果	成果・今後の課題
3 安心・安全な学校づくり	① 各部で実施する防災教育において、児童生徒が理解し取り組める授業を行う。	学校安全課	防災教育の授業内容を理解し、「行動できる」と回答した児童生徒の割合、または教師の見本行動と同様の行動を行うことのできた児童生徒が A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	防災教育の授業内容を理解し、「行動できる」と回答した児童生徒の割合、または教師の見本行動と同様の行動を行うことのできた児童生徒が 98% 判定A	5月の避難訓練では「行動できる」と回答できなかった児童生徒でも、9月の避難訓練後のアンケートでは「行動できる」と答えた児童生徒が増えた。 1月に実施したシェイクアウトの振り返りアンケートで「行動できる」と回答した児童生徒の割合が98%であったことから判定をAとした。 各学部で防災に関する学習の機会を意識的に設けたことで、避難訓練時の行動につながったと考えられる。来年度は、定期的な避難訓練の実施と、引き続き各学部に応じた防災教育の継続的な実践を通して、児童生徒の防災に関する意識をさらに高めたい。
	② 学校で実施する防災教育が、各家庭や地域で役立つものとなるように保護者に情報発信し改善を図る。		防災教育の授業内容について、その内容が「満足できるものである」回答した保護者が A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	防災教育の取組みに関するアンケートで、防災教育の授業内容が「満足できるものである」と回答した保護者が 100% 判定A	保護者に、防災教育の取組みに関するアンケートを実施し、学校は防災教育の授業内容について発信していると感じたと回答した保護者のうち、防災教育の授業内容が「満足できるものである」と回答した保護者が100%であったことから判定をAとした。 防災教育の内容について、避難訓練に限らず防災リュックの確認や防災食の試食、防災グッズ体験などが良かったとの意見が多くあったため、来年度も継続的な防災教育を行い、保護者への分かりやすい情報発信を行っていきたい。